

ユーモアスピーチ船橋

2025 (R7) 年 11 月 13 日発行

ジョークは暮らしの調味料・ユーモアは人生のかくし味

226 回船橋ユーモアスピーチ

2025 年 11 月 13 日 (木) 3 分間スピーチ

スピーチテーマ 「今年の漢字一字」
「おすすめスポット」
「自由題」「失敗談」

ロングスピーチ

関岡 直樹さん：「人生後半戦をどう生きるか」

10 月 9 日の参加者：後藤、中久木、山中、岩瀬、稲葉
山本、小畑、関岡、岩寺、町田、長嶋
11 名

前回のロングスピーチ (10 月 9 日)

「シカよもやま話」

中久木 一乗さま

「シカ」にもいろいろあるようです。

「鹿(漢字のシカ)」は、もっともポピュラー？で、奈良公園の鹿が有名です。

鹿は日本では古くから神の御遣いとされ、お寺や神社には自然に見られました。

しかし、こんな話も残っています。ある高僧が、寺の境内に入ってきた鹿の尻を小枝で軽くだが叩いて追い出した。それを見た村人が「神の御遣いをそのように扱ってよいのか？」と高僧に尋ねたところ、僧曰く「人間は善人だけではない。時には悪人もいて、近づき過ぎると、鹿を傷つける者もいるかもしれず、鹿に『人間には用心が必要である』ことを教えることは大切である」と。

またこんな「シカ」もあります。昔の大きな総合大学で、電話交換室が「航空科の鹿野教授室」に繋いで下さいとの外線電話を、シカ コウクウ カ(歯科口腔科)に廻したり、チカノ ハイシヤノ ヘヤ(地下の配車のへや)に、廻したりしたこともあるそうです。

「私は 100 円シカ持ってないので、このお蕎麦代を払えませんか。」と言うシカもあるし、A 先生は有名な史家の先生でいらっしゃるという「シカ」もあります。

日本語は「シカ」というわずか 2 字でも難しいことがあります。

さて、前置きが長くなりましたが、今日、私がお話ししたいのは医療法に定める[歯科]についてです。

歯科とは、外国でも医科とは区別されているようです。即ち歯科医師の扱ってよい領域は歯と口の周辺に限られている。そして医師は義歯を含め歯については診療範囲外と定められている。医科と歯科の間で、その境界問題が起きる場合もあるが、経済問題でなく健康問題でもあるので大きな問題にはならないことが多い。



【参考】

日本の医師数・・・ 約34万人

日本の歯科医師数・・・約11万人

医学会連合・・・ 144学会

歯科医学会連合・・・46 学会

対象とする部位が違う、対象の大きさ・広さも違い、医科と歯科では規模が違うが医科では多くの場合、患者さんの生命の維持が第一ですが、歯科では、多くの場合は生命の維持は確保された上で、より楽しく生きるための機能回復が大きな目的になります。このようなことから、歴史的にはイギリスで 18 世紀ごろには歯科と医科とは別れ、歯科治療は特殊な設備と技術を要することから世界各国で医科とは別組織のようです。ですから、日本の医療法では、歯科医は歯科と関連ない筋肉内注射は禁じられていますが、新型コロナ流行時には特別の法律を作ってワクチン接種に歯科医もお手伝い出来るようにしたことは記憶に新しいところです。

一方で、医学・医療の進歩発展は目覚ましく、採血しなくとも口や鼻で各種の全身的检查が可能になりましたし、多くのクスリが注射しなくても飲み薬で全身投与が可能になってきました。

昔、歯科医(学生)は、次のような言葉で揶揄われたそうです

＊「眼医者、歯医者が医者ならば、蝶々トンボも、鳥のうち」と。

・・・ところが今や、唾液や鼻汁で多くの全身状態がチョウや、トンボと戯れている間に、分かるようになったのです。

歯科における音波、放射線等の進歩発展も目覚ましく(歯科だけでなく)全身の診査診断検査技術も格段に向上しました。

誤嚥性肺炎に関しては、口腔のケアが大きく関与していると分かって、歯科が無関係ではなくなりました。ヒトの体は区分して研究しても全体としての健康管理が必要です。「シカ」にもいろいろあるようです。

3 分間スピーチダイジェスト

テーマ 「秋バテ」「AI」

稲葉 勝弘：「近況報告」

いつも同じ挨拶になりますが「お久しぶりです」

実は私は蒸し暑さに弱く熱中症気味で 6 月から 9 月迄ほとんど閉じこもり状態でした。

従って服装感覚も鈍って私だけが真夏の半袖で失礼しました。帰りは冷え込むと思いますのでバーミヤンのアルコールで身体を暖めたいと思っております。

ところで家で何をしてたかと言うと歳とともに眠気をもよおすことが多くもっぱら寝てました。

しょっちゅう寝ているので家内が時々息してるか確認してる程でした。このままあの世に行けたらどんなに幸せかとぐうたらな毎日でした。以上つまらぬ報告でしたね。

長嶋 秀治：「自由題」

ノーベル化学賞を受賞した北川先生の研究室の電話が鳴った。いつものように関係のない電話かと思い受話器を取ると、なんとノーベル賞受賞の電話だった。びっくりしたと。

我が家の固定電話は、以前オレオレ詐欺の電話がかかってきたこともあり、留守電にしている。かかってくると聞き耳を立て、関係者だとわかると電話をとり、事情を話し陳謝する。こちらから固定電話にかけると、同じような対応をしている家庭が多いことに気づく。安心して通話ができる世の中になってほしい。

山中 昇：「旅の（耳の）ごみはかき捨て（旅の恥はかき捨て）」

08/18-08/21、3泊4日のドライブ旅行で青森県を一周しました。08/19の朝、突然左耳に違和感があり、聞こえにくくなりました。

急遽、宿から一番近い五所川原市の耳鼻咽喉科に駆け込みました。

左耳を調べてもらったら、なんと、3か月くらい前に紛失したと思っていたイヤホンのキャップが出てきて、びっくり！！！！！！

放っておいたら耳がとんでもないことになっていたかもしれない。

異常を感じて病院に行って正解でした。

旅行にマイナカード(保険証として使える)は必須です。

3割負担の1650円で済みました。

日本の健康保険制度は素晴らしい！

医療費詳細に「手術：外耳道異物除去術(単純なもの)」と書いてありました！

山本 成夫：「AI」

人工知能(AI)は、人間のように文章、画像、音声などの新しいコンテンツ(情報)を作り出せる点が大きな特徴。AIを賢く活用するには、バランスが大事。AIに頼ることなく、家族や友人との対話や交流を大切にする。又、AIを生活の補助として利用しつつ、判断能力や生活能力を維持すること。

将来的には、AIはさらに進化し、人間と同等あるいはそれ以上の知識を持つようになると予測される。しかし、人間に使えて、AIに使えないものがある。それは何でしょう！直感力と共感力です。

このユーモアスピーチの会は、テーマを直感力で選び、聞く人と共に共感力を味わっている。この点においてはAIに勝る。今夜の酒はAIに勝る味がするでしょう。乾杯！

後藤 文男：「私の友人が登山で熊と遭遇」

私の友人は山が好きで日本100名山を目指している。現在99で残りは北海道の羅臼岳で今年の8月にトライした。ここは最近熊が出たので事前に山小屋で番人から熊の遭遇した時の注意を受けた。

順調に登山は進み、頂上まであと少しのところ突然50m先の山中から親熊と小熊の2頭が飛び出し向かってきた。思わず息を飲みたずんだ。大声を出すと熊を刺激するので、熊から目を離さずゆっくりの後ずさりして下がっていった、熊が近づき、もうだめかと思った時なぜか熊は方向をかえ山中に逃げていった。その間わずか1分程度だが1時間以上に感じたという。もう少しで頂上だが諦め下山した。友人曰く、日本100名山は99で終了する、再度の挑戦はしないといていた。よほど怖かったと思われる。

関岡 直樹：「自由題」

山極寿一さんの話をしました。京都大学の総長だった方ですが、国立大学協会と日本学術会議の会長もされました。この3つを兼務された方は過去にいないそうです。また、国からのお声がかりの会議で様々な有識者が集まった場面で、会議が終了すると女性のメンバーが山極さんの周りに自然に集まったとのこと！他の人にはない魅力の持ち主だろうと想像しています。

「私はゴリラの国に留学してきた。まさかと笑う人がいるが、本気でそう思っている」と山極さんは言われます。11月のロングスピーチで話す機会を頂きましたので、氏のご著書「老いの思考法」から「人生後半戦をどう生きるか」のヒントになる部分をご紹介します。

中久木 一乗：「名前の由来・意味」

いわゆる「姓・苗字」などに関しては、その定義はいろいろで平安時代から、個人の名前に付随して、色々な地位や家柄、立場をしめす多くの言葉があったが、明治 9 年に法的に定めてから、ほぼ一定の考え方に法で決められた。しかし最近、「子どもの姓」に関し一部でまた話題である。

久木とは恐らく常葉樹が多く見られる地域であり、その地域の上(かみ)を示す「上久木」、下(しも)をしめす「下久木」の中間部の「中久木」であろうと私は勝手に思っている。

net に依れば「中久木姓」は当然大都市に数多いが、比率的には、三重県桑名地方と栃木県に多く見られる姓らしいが、そのいわれは不明である。「一乗」とは、(前にも述べたが)仏教言葉で「悟りを開くに一番の乗り物」の意であるようだ。

町田 雅和:「AI」

AI が進化すると、鉄腕アトム型のロボットが出現し、三遊亭圓生など過去の落語家の名人芸を一字一句正確に再現するかもしれません。そうすると逆に言い間違えたりする、船橋ユーモアのようなライブが大切にされる時代になるかもしれません。スピーチの会には助成金が出で、美人の司会者を派遣してくれるかも・・・、でもその美人司会者はきっと AI が搭載されたロボットでしょう。

予告：12 月 「船橋ユーモアスピーチの会」

12 月 11 日 (木) 14 時 00 分～ 船橋勤労市民センター2 階 第 1 講習室
ロングスピーチ

岩瀬 緑朗さん：「ボランティア活動～楽しいひととき、出前どころ～」

スピーチテーマ 「一年を振り返って」、
「自由題」、「失敗談」

※スピーチダイジェストの送付先のお願い

期間：ユーモアスピーチの会終了後、2 週間以内を目途に

文字数：ロングスピーチは 700～1000 文字程度

3 分スピーチは 200～300 文字程度

送付形式：Word 文書で送付願います

送付先：町田 mac555new@ybb.ne.jp

会場変更のお知らせ

現在利用中の、船橋中央公民館は 2025 年 12 月より大規模改修工事のため、約 2 年間使用できません。

新規会場として、12 月は勤労市民センターを予約しました。2 階の特別会議室にて、開始は 14 時です。

